

(1) 次の枠内は夏目漱石の俳句を楷書で書いたものです。楷書と仮名の調和を意識した場合、さらに良くするために、どのような点に気を付けて書き直せばよいですか。あてはまるものを次のア～オから全て選び、記号で答えなさい。

たたかれて  
昼の蚊を吐く  
木魚かな

- ア 漢字を大きく仮名を小さく書くときよい。  
イ 行の中心をそろえて書くときよい。  
ウ 傾いた字はまっすぐに書くときよい。  
エ 字と字の間隔をそろえるときよい。  
オ 行と行の間隔をそろえるときよい。

(2) 次の枠内は「日光」と行書で書いたものです。行書の特徴は色々ありますが、この「日光」では、どのような特徴を見ることができそうですか。あてはまるものを次のア～カから全て選び、記号で答えなさい。

日光

- ア 字が丸みを帯びているところがある。  
イ 点画が省略されているところがある。  
ウ 点画が連続しているところがある。  
エ 点画が変化しているところがある。  
オ 筆順が変化しているところがある。  
カ 筆脈が現れているところがある。

(1) 次の枠内は夏目漱石の俳句を楷書で書いたものです。楷書と仮名の調和を意識した場合、さらに良くするためには、どのような点に気を付けて書き直せばよいですか。あてはまるものを次のア～オから全て選び、記号で答えなさい。

たたかれて  
昼の蚊を吐く  
木魚かな

- ア 漢字を大きく仮名を小さく書くとよい。
- イ 行の中心をそろえて書くとよい。
- ウ 傾いた字はまっすぐに書くとよい。
- エ 字と字の間隔をそろえるとよい。
- オ 行と行の間隔をそろえるとよい。

ア・オ

(2) 次の枠内は「日光」と行書で書いたものです。行書の特徴は色々ありますが、この「日光」では、どのような特徴を見ることができそうですか。あてはまるものを次のア～オから全て選び、記号で答えなさい。

日光

- ア 字が丸みを帯びているところがある。
- イ 点画が省略されているところがある。
- ウ 点画が連続しているところがある。
- エ 点画が変化しているところがある。
- オ 筆順が変化しているところがある。
- カ 筆脈が現れているところがある。

ア・ウ・エ・カ